

SFC STUDENT AWARD

2011年度

所属	受賞者(代表)	受賞内容
政策・メディア 博士4年 政策・メディア 博士1年	ピラス ヴァンサン 林 健太郎	コンピュータシミュレーションを用いて、がん細胞の死滅を即す分子を予測し、国内外で高い評価を得た
政策・メディア 修士2年	浜島 聖文	遺伝子暗号の解読システムの“例外”を発見し、国内外で高い評価を得た。
政策・メディア 修士1年	辻 航平	ACE 2011,Creative Showcase & Interactive Art Track、Gold Award 受賞 SIGGRAPH ASIA 2011、Emerging Technologies 採択 ASIA DIGITAL ART AWARD 2011 入選 インタラクシオン 2011、2011年3月10日、インタラクティブ発表賞
政策・メディア 修士1年	加寄 長門	国際学会(データベース分野)にてBest Student Paper Award 受賞(筆頭著者としてフルペーパーでの国際論文発表)(1件) 国内学会にて筆頭著者として発表(2件)
政策・メディア 修士1年 環境情報 2年	遠藤 忍 鶴田 浩之	プロジェクト「Pray for Japan」の取り組み その他 鶴田君はInfinity Ventures Summit 2011 Fallで行われたLaunch Padプレゼンテーションで優勝、遠藤君は「リアル熟議」を運営するなどSFC制の模範となる活動を積極的に進めている。
総合政策 4年	笠松 亮太	4年間文武両道を体現し、最上級生としてサッカー部を引っ張り全日本大学選手権に出場して3位に入賞した。(サッカー全国3位に導いた4年生)
総合政策 4年	遠藤 ちひろ	・ダッカ大学の学生と教育学生団体「SWITCH CREATIVES」を創設、バングラデシュ版13歳のハローワーク・フリーマガジンを発行。バングラデシュの子供たちの大きな夢を描くメディアとしてバングラデシュ国なの新聞3紙にとりあげられた。
総合政策 4年	松村 佳奈	・「プレゼンテーション・パターン」が、ニュースサイトで紹介されたほか、ソーシャルブックマーク、twitter等で大きな反響を呼んだ。(プレゼンテーション・パターン・プロジェクト) ・プレゼンテーション・パターンをはじめ、ワークショップ等も話題となり新聞で紹介された。
環境情報 4年	山本 優理	第31回キャピラリー電気泳動シンポジウム(SCE2011) 最優秀ポスター 賞受賞
環境情報 4年	野中 祥平	書籍『中高生の勉強あるある、解決します。』の出版 ブログ『中学生・高校生のあるある研究所』の執筆 新聞、雑誌等の各種メディアで紹介された。
環境情報 4年	佐藤 友紀	物理的なモノに貼付した無線タグに情報を分散して書き込むことで、“そこにはないモノ”を特定する技術を世界で初めて実現した。 高い競争率の国際学会(IEEE RFID)に2年連続で採録された。 国際的に著名な学会誌(IEEE Transactions on Automation Science and Engineering)にregular paper採録決定
環境情報 4年	下 英恵	血液学の国際論文誌に掲載され、その分野の第一人者から「革命的」と賞賛された 平成23年度日本学生支援機構優秀学生顕彰学術部門で大賞受賞 高い英語力を持ちTOEICで満点を獲得した 体育会剣道部に4年間所属し、文武両道を体現した
総合政策 3年	中垣 拳	第19回国際学生対抗バーチャルリアリティコンテストにおいて、総合優勝をはじめ Laval Virtual Award、未来観客賞、DCEXPO/ConTEX賞受賞(チームアシカくん)
環境情報 3年	鈴木 あい	財団法人公共政策調査会等の主催する「平成23年度懸賞論文 地域社会の安全をいかに守るか」において最優秀賞を受賞した。
環境情報 2年	中安 恒樹	自らの研究成果を活かし学内外の各種Webサイトで動作するプログラムのセキュリティに関する脆弱性を大量に発見し通報、インターネットセキュリティの向上に貢献した。

2010年度

所属	受賞者(代表)	受賞内容
政策・メディア 博士2年	菅原 潤一	ホーム「科学技術への顕著な貢献2010(ナイスステップな研究者)」に選定
総合政策 4年	深井 晴香	国際学会(マルチメディアデータベース分野)にて筆頭著者としてフルペーパーでの国際論文発表(2件) 国内学会にて筆頭著者として発表
総合政策 4年	宮島 昇平	芸術的に質の高いドキュメンタリーシネマを制作
環境情報 4年	田中 美穂	文武両道の体現 * 女子タッチフットボール部の主将としてチームを全国3位に導いた * バイオ燃料の研究成果をオランダの国際学会で発表した
環境情報 4年	平賀 俊孝	第1回大学・専門学校対抗 日本カーデザイン・コンペ 最優秀賞授賞(電気自動車研究室デザイングループ TOKYO EV TAXI Project Team) TOKYO EV TAXI Project Team)
環境情報 4年	山岡 潤一	第18回国際学生対抗バーチャルリアリティコンテスト(チーム・キメラ) 日本VR学会賞・DCEXPO ConTEX賞 受賞 2010アジアデジタルアート インタラクティブアート部門 入賞
環境情報 4年	次田 尚弘	「和歌山さんばみちプロジェクト」の継続的展開 「第12回近畿コミュニティ放送賞」 受賞
環境情報 4年	大木 洵人	2010年度 グッドデザイン賞 受賞 2010年度「学生ビジネスプランコンテスト」 アイデア賞受賞
総合政策 3年	池田 俊	GlobalTiC Talentrepreneur Award2010 「Textile Innovation Award」を授賞(Art Jaquet)
総合政策 3年	本郷 愛実	WABAユースパンフレットを和訳・作成・発行 「第5回医療の質・安全学会学術集会」にて研究成果を筆頭著者として発表
総合政策 3年	神野 翔	「愛媛リアル熟議9.4」を主催し、多大な実績を残した

2009年度

所属	受賞者(代表)	受賞内容
政策・メディア 博士4年	紙 健次郎	癌細胞と回虫が同じ呼吸法をしていることを実験で明らかにし、”虫下し”が癌の治療に効く可能性を示した。
政策・メディア 博士3年	今見 考志	ナノテクとバイオを融合させ、細胞内の情報伝達を解析する革新的技術を開発し各賞を受けた。
政策・メディア 博士1年	菅原 潤一	第9回バイオビジネスコンペJAPAN最優秀賞
政策・メディア 2年	生天目 直哉	センサネットワークのデータストリームを共有するためのプラットフォームであるSensingCloudを提案、”分散センサネットワークのための透過的アクセス”、”メタ情報を利用したデータアクセス”、そして”規模に応じた自律的スケーリング”を可能とするシステムアーキテクチャを設計・実装し、修士論文にまとめた。内外の発表で評価を得ている。
総合政策 4年	トランティ 美佳	地雷除去のためのスポーツイベント活動、茅ヶ崎市とのライフスキルプログラム実施、未来創造塾(ハウス)の活動基盤を確立
総合政策 4年	下西 風澄	「カオス」という数理現象を可視化する新しい手法を発見し、その「科学的研究」と「芸術的活動」の両方を行って、学外研究者やプロの芸術家と結成したグループで、音楽と映像を融合させた様々な活動をしている。
総合政策 4年	昼間 貴宏	動画像データベースを用いた企業広告戦略の分析・評価システムを実現、論文の筆頭著者として国際学会で発表
環境情報 4年	野島 沙樹	論文「Effect of skin lotion perfume on building an attachment for the lotion for during continuous useが、パリで開催のコンファレンスで厳しい審査後、採択された。
環境情報 4年	次田 尚弘	まちの魅力をクロスメディアで伝え交流する「和歌山さんぼみちプロジェクト」の展開他
環境情報 4年	赤瀬 翔子	未来創造塾(ハウス)立上の主要メンバーとして活動の基礎を築いた、また、茅ヶ崎市と藤沢市とのライフスキルプログラムの作成、実施。
環境情報 4年	伊藤 妃実子	新しく会社を立ち上げその経営にあたり、ビジネスコンテストでの部門入賞、自身の経験を生かしたビジネスケース教材の開発、その実践と研究により活動が広く社会で評価されている。
環境情報 4年	三宅 桐子	「SFCらしい学び」を実現するための冊子、「Learning Patterns:A Pattern Language for Active Learners at SFC2009」を制作し、学内外での広がりを見せ、評価されている。
環境情報 4年	熊坂 瑶子	アニメーションを用いた漢字補助教材を開発し、学会発表で評価を得た。日本語学習者にも利用され応用が広がっている。
総合政策 3年	加藤 文彦	KBC実行委員会、学生が起業を志す際の支援体制を作り上げた。KBC Brand-New Challengeとコンテストを開催、支援したプログラムが世界15大学からの応募中、一位になる。
総合政策 3年	緒方 伊久磨	ひたちなか海浜鉄道の施設を用いたメディアアート展の開催による地域活性プロジェクトの実施
環境情報 3年	大木 洵人	さまざまな形での手話の普及活動での成果
総合政策 2年	鈴村 沙織	子宮頸ガンの予防および検診受診に関する啓発活動を推進する「リボンムーブメント」を結成し、冊子の作成・配布、シンポジウム開催等の積極的な活動が国や自治体等から高い評価を受けた。

2008年度

所属	受賞者(代表)	受賞内容
政策・メディア 修士2年	菅原 潤一	生命科学と情報科学の境界領域で革新的な技術を開発し、新種のtRNA分子を発見した。この研究成果は、Massachusetts Institute Of Technology との共同研究に発展し、国際論文として「Science」などに掲載された。
政策・メディア 修士2年	今井 小帆里	国際学会(2件)、国内口頭発表(1件)、国内デモ発表(2件)
政策・メディア 修士2年	鈴木 雅陽	マイクロサウンドデザイン「オトノリ」(モバイルスイカで駅の自動改札機を通る際に、自分の好きな音を鳴らせる)を提案
環境情報 4年	六反 孝幸	
政策・メディア 修士2年	長尾 優	ACM ACE 2008学会”Creative Showcase”に採択、ACM Siggraph 2008学会”Posters”に採択(稲蔭正彦研究室 Whadget プロジェクト)
総合政策 3年	原田 一弘	
環境情報 3年	山口 春花	
環境情報 3年	大村 香織	
環境情報 3年	川野 健太	原宿に集まる人々の個性の交わりを表したインスタレーション作品「原宿染」が「HUGO BOSS Store HARAJUKU Desine “THE CUBE”」にて大賞受賞
政策・メディア 修士1年	横江 宗太	
環境情報 4年	中川 万理奈	東京都福生市において「やさしい日本語」による情報発信を軸とした外国人住民の支援と多文化共生社会の実現に向けた活動に取り組み、政策提言が取り上げられた。 『外国人のための生活便利帳』の「やさしい日本語帳」版の作成 ワークショップ「『やさしい日本語』で地域をつなごう」の開催 「やさしい日本語」版の作成のためのマニュアル作り
総合政策 4年	中牧 莉香	
総合政策 4年	小野木 湊	
環境情報 4年	近藤 怜子	
環境情報 4年	三田 真未	
総合政策 2年	川口 晋平	
環境情報 4年	山田 貴子	外務省によるODA民間モニターに選抜されバングラデシュの現地調査団に加入 また、フィリピンのストリート・チルドレンについてのフィールドワークを行う
看護医療 4年	別府 明日香	本塾体育会女子サッカー部の一部昇格に貢献した
総合政策 3年	出口 彩央里	日仏交流150周年記念「フランス語コンクール」(主催:日仏会館)にて最優秀賞を受賞
総合政策 3年	松原 真倫	野村総研学生小論文コンテスト2008 大学生の部大賞
環境情報 3年	菅 順史	第2回学生デジタル作品コンテスト(主催:アップルジャパン)にてグランプリ
環境情報 2年	時田 亜希夫	および審査員特別賞をダブル受賞
総合政策 2年	鈴木 俊輔	第13回東日本フレッシュマンズカップにてWOMENの部 準優勝、OPENの部 優勝(Ultimate Team HUSKIES 他 50名)
総合政策 2年	進藤 剛至	俳句の大会における受賞歴(全国学生俳句大会:特選、海外日系文芸祭:海外日系人協会理事長賞、田舎女青春俳句祭:優秀賞、都留市ふれあい全国俳句大会:都留文科大学長賞、正賞)

2007年度

所属	受賞者(代表)	受賞内容
政策・メディア 博士3年	石井 伸佳	史上最大規模の細胞分析実験を通して、生命の頑強性を世界で初めて定量的に実証した。国際論文誌Scienceに筆頭著書論文が掲載され、巻頭と公式Webでハイライトされた。
政策・メディア 博士2年	大橋 裕太郎	「Being-いきていること展」 グッドデザイン賞(コミュニケーションデザイン部門)受賞
政策・メディア 修士2年	栗林 賢	植物を用いたインタラクティブシステムを構築 グッドデザイン賞(新領域デザイン部門)受賞
政策・メディア 修士2年	国友 美千留	阪神淡路大震災の復興過程と記憶の風化の問題に対し、独自のアプローチで研究を行い、社会科学系の論文誌『社会・経済システム』に筆頭著者論文として掲載される。
政策・メディア 修士2年	宮田 大督	デジタルコンテンツ「模画(MOGA)」がメディア芸術祭「ARS Electronica」に採択される。
政策・メディア 修士1年	内田 有映	ACMのACE2007においてBest Demo賞受賞、シンガポールで開催されたIDAT展に招待される。
政策・メディア 修士1年	菅原 潤一	デジタルデータをDNAに長期保存する技術を発明した。国際論文誌「Biotechnology Progress」に発表。平成19年度第2回事業化助成金採択。GlobalTiC Talentpreneur & Forum 最優秀賞受賞
総合政策 4年	瀬戸 なつみ	外務省主催大学生国際問題討論会フォーラム2007において準優勝。
環境情報 4年	米澤 志織	水上スキー競技 チャンピオン・シリーズ、全日本学生水上スキー選手権、全日本水上スキー選手権において優秀な成績
環境情報 4年	横山 誠人	国際会議(ICTS2007)にて発表を行なった点において学部生としては極めて優れた水準の成果を達成した。
環境情報 4年	河野 暢明	遺伝子や代謝物質を複数同時に描写するソフトウェアを開発し、代謝全体を同時に観察できるマップを世界で始めて作成公開した。 日本学生支援機構 平成19年度優秀学生健勝事業 学術分野大賞
環境情報 4年	生天目 直哉	卒業制作・論文の完成度の高さ、国際ワークショップ等での発表
環境情報 4年	橋爪 克弥	卒業制作・論文の完成度の高さ、ORF展示内容を雑誌記事で紹介された事実、人口知能学会全国大会特別セッションでの講演依頼
総合政策 3年	吉田 洋基	箱根をケースに地域再生、地域ブランド戦略を提言 日本ミュージアムマネジメント学会常務理事に評価される。
環境情報 3年	仙石 裕明	環境学生会議におけるリーダーシップ的な役割を果たす。横浜市環境創造局より支援を取り付ける。環境会議雑誌社から取材を受けるにいたる。
総合政策 2年	松原 真倫	日本公共政策学会・公共政策フォーラム2007IN京都「学生による政策コンペ」にて同会会長賞を受賞(個人による受賞は大会初)
環境情報 2年	北野 華子	子どもたちが入院生活について理解するための絵本「にゅいんこわくないよ」を国立成育医療センターに寄贈したことがTyler Foundationから評価され支援を受けている。

2006年度

所属	受賞者(代表)	受賞内容
政策・メディア 博士2年	中野 智仁	ソシオセマンティクス・テキスト意味空間分析システム 「テキスト意味空間分析法」でのシステム利用及び教室運営2003年度～毎年 「Web社会調査法開発:ソシオセマンティクス」COEプロジェクトとして採択2003年度～ ORF出展2004、5年 日本認知語学学会ワークショップで成果報告 2005年から深谷研究室、富士ゼロックス、ゲインにより事業化推進。2006年準備室をIV内に開設 卒業研究、修士論文研究、政策COE・ワーキングペーパー、シンポジウム発表、学会発表などで成果を発表
政策・メディア 博士3年	秋山 優	
政策・メディア 博士1年	佐治 伸郎	
政策・メディア 修士1年	榊田 晶子	
卒業生	岡田 智靖	
卒業生	山澤 美由起	
政策・メディア 修士2年	塚本 文	社団法人環境情報科学センター主催の研究発表大会におけるポスターセッション学生の部にて理事長賞
政策・メディア 修士1年	小泉 萌	
総合政策 4年	小田切 晃紘	
政策・メディア 修士2年	谷内江 望	国際学会でベストポスター賞を受賞するとともに記録的な数の論文(筆頭著者3本、共著5本)が国際論文誌に掲載された
環境情報 3年	大西 英也	DIVA芸術科学会展2006インタラクティブアート部門審査員特別賞 ACM CHI ACE2006 Arts Exhibition Bronze Award NICOGRAPH International2006 in Seoul展招待展示
総合政策 3年	クマ - ルラトネツシュ	
環境情報 4年	内田 有映	
環境情報 4年	神谷 久泰	
政策・メディア 修士2年	杉野 公亮	
総合政策 4年	西田 みづ恵	高校生のための起業家精神育成ケース教材11点、映像教材3点開発 高等学校を対象にケースメソッド授業の実践 草の根情報化セミナーでの公演 高知新聞に記事、サガテレビ、テレビ和歌山での特集番組
総合政策 4年	森 裕介	国際電気通信連合よりFellowshipを獲得 総務省の推薦により「ITU TELECOM WORLD 2006 Youth Forum」へ日本代表として参加
総合政策 4年	佐々木 朋美	個人状況対応語学教材検索データベースシステムの設計実用的段階のシステムの構築 国際学会(IASTED2006)における論文発表 2005年より「東京アートビート」の運営メンバーとして東京圏にあるデータベース構築の活動
環境情報 4年	田島 悠史	インタラクティブアート作品「Ichion」の作品展入選と展示と論文発表 音楽作品「WA-4」のコンピュータ音楽コンサート(CCMC)入選 SFC専用のネット予備校SFC-SKILL FACTORYの立ち上げと運営 アートと環境の勉強会AaE-Art and Environmentの立ち上げと運営
環境情報 4年	菅原 潤一	極限環境微生物のゲノム解析ソフトウェアを開発し、未知遺伝子を多数同定して国際プロジェクトに貢献 開発したソフトウェアを国際論文誌に筆頭著者で発表
看護医療 4年	市村 涉	「ORFまちづくりアイデアコンテスト2006」における神奈川県知事賞の受賞
看護医療 4年	増田 萌花	
総合政策 3年	クマールラトネツシュ	日本MITエンタープライズ・フォーラム主催「第六回ビジネスプランコンテスト・イン・ジャパン」における優秀賞受賞 及び事業化へ向けた活動
環境情報 3年	河野 暢明	大量の生物学データを可視化するソフトウエアを開発し、国際論文誌に論文が掲載された

環境情報 3年	米澤 志織	全日本学生水上スキー選手権ジャンプ種目 個人3位 団体2位 JCWSF2006 新人女王、女子団体総合優勝(各種目団体優勝、スラローム・ジャンプ競技個人1位、トリック競技個人2位)
総合政策 2年	辻岡 義堂	湘南江の島海の王子として、全国各地でSFCと藤沢市のイメージアップに多大な貢献

2005年度

所属	受賞者(代表)	受賞内容
政策・メディア 修士2年	勝本 雄一郎	文化庁メディア芸術祭協賛事業 第11回学生CGコンテスト インタラクティブ部門 最終選考ノミネート作品として入選
政策・メディア 修士2年	和田 裕介	「moo-pong:映像の万華鏡」を製作・発表し、国内外で高い評価を得る
政策・メディア 修士1年	臼井 旬	
総合政策 4年	瓜生 大輔	
環境情報 3年	柴田 樹	円筒形電子ブックデバイス「BiblioRoll」の開発、特許出願、学会発表、各メディアへの掲載
政策・メディア 修士2年	落合 香里	
環境情報 4年	洲巻 和也	
政策・メディア 修士2年	渡邊 恵太	「Ubink:世界各地の「色味」をリアルタイムにインクとして提供するシステム」がJGN2を活用した研究開発アイデアコンテストにて総務大臣賞を受賞
政策・メディア 修士1年	関 智美	2005年LDSE 審査員賞三谷徹賞受賞
政策・メディア 修士1年	今井 亮介	
総合政策 4年	浦田 彩織	第1回未来技術の使い方アイデアコンテスト ドリーム賞受賞
総合政策 4年	水上 貴之	東京モーターショー2005Eliica出展プロジェクト
総合政策 1年	水上 薫子	2005年度ドイツ語作文コンクール(220名参加) 最優秀者 (85名参加のレベル2で一等賞)に選出
環境情報 2年	石野 陽一	第16回全国アルティメット選手権大会3位 第30回全日本アルティメット選手権大会10位 第15回全国学生新人アルティメット選手権大会1位
環境情報 2年	川合 尚彦	小中学生を対象に英語教育プロジェクト「LEGO CITY PROJICT」を実施
環境情報 2年	村上 永祐	日本インダストリアルデザイナー協会主催「あかりメッセージ2005」で伊藤隆道賞受賞。
総合政策 3年	川尻 名緒	第40回全日本学生トランポリン競技選手権大会 女子Aクラス 5位 第42回全日本トランポリン競技選手権大会 6位 第11回トランポリントーナメント競技選手権大会 3位 全日本ランキング第4位 2005/2006ワールドカップシリーズ 後半戦出場権獲得
総合政策 3年	佐川 大介	医療界の変革を担った医療系ウェブサイト「当直ナビ」(＝医局の枠を超えた医師の病院選び)等を提供する会社を運営メディアに取り上げられた。
環境情報 4年	鈴木 祐太	社会シミュレーションのモデル作成に関するチュートリアル作成(NTT出版より出版予定) 上記を用いたチュートリアルセッションの運営・講師実践
総合政策 4年	松浦 廣樹	
環境情報 4年	大藪 勇輝	アドホックネットワークにおけるアプリケーションの開発 国際学会Asian Internet Engineering Conferenceに採録 開発アプリケーションは授業の教材としても利用
環境情報 4年	川田 弘明	画像データベース分野における新しいメタデータ生成方法を提案、及び高速処理システムを構築
環境情報 4年	渋谷 みどり	ACM SIGGRAPH2005[Cyber Fashion Show]に日本人として初めて採択された。
環境情報 4年	船木 信宏	ユーザーに応じたWWW情報検索を実現するシステムの設計、提供 日本データベース学会論文誌、第16回データ工学ワークショップ論文集に筆頭著書として発表
環境情報 4年	宮崎 浩之	2005年度地理情報システム学会学術研究発表大会で大会優秀発表賞受賞、他
環境情報 4年	渡邊 由香	線虫のマイクロRNAの機能を世界で初めて網羅的に同定
環境情報 4年	辻下 直美	映像作品の企画・製作 アジアマーケットプレスに招待され講演 文化庁メディア芸術祭推薦作品 水戸短編映像祭順グランプリ、東京学生映画祭順グランプリ、北大映画祭観客賞 明治製菓Webショートムービー 中京テレビ「ウキ→ビジュ」採択
環境情報 4年	速水 浩平	企業や大学の研究機関において「音力発電」を共同研究
環境情報 4年	後藤 真理絵	「ことば」の特性を用いた多様な作品の製作とそれらの外部からの評価
看護医療学部 4年	南 瑛子	SIV Business Idea Contest 2005 1st Half 優勝、特別賞受賞 全国学生ビジネスアイデアコンテスト 特別賞受賞

2004年度

所属	受賞者(代表)	受賞内容
政策・メディア 修士2年	辻田 昌弘	高橋亀吉記念賞「優秀作」受賞
政策・メディア 修士2年	児玉 哲彦	「家展～記憶のかたち」の企画・デザイン・展示の実施により、家を中心としたインタフェースデザインの具体性を学外の200名を超える人々のその成果を果たすことができた。(他5名)
政策・メディア 修士1年	山下 納帆美	(株)総合報道主催2004「新たに期待できるOOHメディア(広告媒体)ビジュアルコンペティション」準優秀賞

政策・メディア 修士1年	渡邊 安輝	「都市建築の発展と制御」に関する設計競技・緑地や公共空間と創出する都市建築の原型 優秀賞受賞(渋谷川プロジェクト 他17名)
環境情報 4年	高橋 拓也	2ND GROBAL START-UP@SINGAPORE2004への慶應義塾代表として出場 (日本の大学からの初出場・全出場チーム内で最年少での出場)
総合政策 4年	矢田 海里	チャリティラン"ACROSS-AMERICA"(自転車でのアメリカ横断と反戦キャンペーン)
総合政策 4年	大野 雅子	平成16年度弁理士試験に最終合格した。今年度の弁理士試験の合格率は約7%であり、合格者の平均年齢は34歳であった。現役の学部生が合格することは、司法試験に比較しても困難であり、ごく少数である。
環境情報 4年	平田 啓介	2004年度建築学会競技設計「建築の転生・都市の転生」タジマ奨励賞受賞(石川幹子研究会 他3名)
環境情報 4年	平尾 丈	東京都学生起業家選手権で慶應義塾大学初の優秀賞を受賞した。
環境情報 4年	馬瀬 哲	スマートITデザインコンテスト最優秀賞受賞
環境情報 3年	速水 浩平	音力を使った電力発電・論文発表
総合政策 3年	金子 直城	2004年全日本学生外洋帆走連盟選手権(兼Student Yachting World Cup日本代表選考会)において準優勝(慶応クルージングクラブ(他6名)
総合政策 3年	辻下 直美	映画制作及びその外部からの評価
総合政策 2年	窪田 万里	ホノルル市長杯第34回全日本青少年英語弁論大会関東代表全国第3位 授業「ビジネス・スタデーズ」においてのクラス活動、及びビジネス関連の課外活動
総合政策 2年	浮津 弘康	「キャンパスベンチャーグランプリTOKYO」大賞受賞
環境情報 2年	下沖 功児	第六回全日本学生選手権クリテリウム大会7位入賞 文部科学大臣杯第60回全日本大学対抗選手権自転車競技大会男子4kmインディビデュアル・パシェート8位入賞 第40回全日本学生自転車競技新入戦東日本大会男子4kmインディビデュアル・パシェート4位入賞 第59回国民体育大会自転車競技成年男子ケイリン準優勝 2004年東京六大学対抗自転車競技大会男子1kmタイムトライアル優勝/1kmチームスプリント優勝/10kmポイントレース4位入賞
総合政策 1年	中河 香一郎	土木学会創立九十周年記念懸賞論文にて優秀賞受賞
看護医療	サンタ企画実行委員会(13名)	慶應義塾大学病院でのボランティア活動・イベント開催

2003年度

所属	受賞者(代表)	受賞内容
政策・メディア 修士2年	沼田 興治	蛋白質を作らないRNAが多数存在することを示した。Nature誌掲載
政策・メディア 修士1年	丹羽 大介	第2回チェス全日本チーム選手権 準優勝(公認団体 チェスサークル)
政策・メディア 修士1年	中村 友祐	2002年度日本建築学会設計競技 関東地区支部入選 (石川幹子研究会 他2名)
総合政策 4年	岡村 優子	第5回国際協力大学生論文コンテスト準特選入賞 平成14年度国際青年育成交流タンザニアへの派遣
総合政策 4年	高橋 雄介	ハロウィンズプロジェクト創設、各種イベントの開催
環境情報 4年	神山 資将	知識社会における大学の機能の再定義と、それに基づく新しい大学利用のモデルの提起 (知識環境研究会)
総合政策 3年	安井 元規	湘南市構想を考えるフォーラム設立他学外活動、 HCD、REVIEW、SFC - SFS他数多くの学内活動
総合政策 3年	加藤 太一郎	第2回スマートITデザインコンテストにおいて最優秀賞(Team sensecape 他6名)
環境情報 3年	太田 亜由美	タッチフットボール関東大会準優勝、大学女子東西王座決定戦3位 (公認団体 BREAKS)
環境情報 3年	松木 雅幸	第3回チェスフレンドシップ大会 優勝 (公認団体 チェスクラブ)
総合政策 2年	河野 理愛	スポーツインキュベーションシステム設立、運動科学の発展に寄与
環境情報 2年	本郷 毅史	3年半の自転車による 3大陸4万5千キロ走破